

■長谷川テル エスペランチスト、反戦運動家。中国人と結婚し、中国で対日反戦放送や著作をするも、中絶失敗で早世。
はせがわてる
明治天皇没・1912= 東京市役所土木技師の娘として、父の出張先の山梨県に生まれた。
東京で育ち、

ペリエ条約・1919= 7歳：_第一次世界大戦の終結とともに、国際協調の象徴たるエスペラントへの期待が高まり、学会が発足。

原敬首相暗殺1921= 9歳：

関東大震災・1923=11歳：東京府立第三高等女学校に入学。

円本時代始・1926=14歳：_学会が財団法人になるほど普及する一方、プロレタリア運動と結びついて、

世界恐慌・・1929=17歳：卒業し、奈良女子高等師範学校に入学、寮生活に入る。

海軍軍縮条約1930=**18歳**：

満州事変・・1931=19歳：学内の短歌サークルに参加、校友会雑誌に短歌を発表。_プロレタリア・エスペランチスト同盟が結成されたのに呼応するように、

五一五事件・1932=20歳：_エスペラントを学ぶと同時に、プロレタリア文化運動と関係したため検挙され、退学となり、帰京。

国際連盟脱退1933=21歳：タイブライター学校を卒業。_日本エスペラント学会で勤労奉仕。{エスペラント文学}の創刊に参加。

芥川直木賞1935=23歳：_上海の世界語協会に寄稿、葉籠士との文通始まる。

一二六事件・1936=24歳：*エスペランチストの中国人留学生劉仁(劉鏡寰)と知り合い、父の許可なしに結婚。

日中戦争始・1937=25歳：_上海に渡り、エスペラント50年祭に参加、{日本評論}に訳稿、日本エスペランチストへの公開状「中国の勝利は全アジアの明日への鍵である」を発表。日中戦争開始後、広州で検挙され、香港追放を経て、健保+総動員 1938=26歳：*南京にたどりつき、国民党中央宣伝部國際宣伝處で日本兵むけの反戦放送を開始、内外に大反響となる。第二次大戦始1939=**27歳**：_日本軍の侵攻とともに重慶へ移り、放送をつづけたが、国共の対立激化でしだいに共産党にひかれ、

日米開戦・・1941=29歳：*重慶でエスペラントの「嵐の中のささやき」を刊行。長男を出産。郭沫若のもとで対敵文化工作委員会に移って、エスペラント活動をつづける。

敗戦・・・・1945=33歳：_「戦う中国で」を刊行。上海に向い、

新憲法公布・1946=34歳：_夫の故郷瀋陽へ行き、長女を出産。共産党支配地域にはいったが、

新憲法施行・1947=35歳：*妊娠中絶手術が原因で、チャムス(佳木斯)で没した。

まもなく劉仁も死去したため晩年の消息は長らく不明であったが、近年遺児の劉星・劉曉蘭兄妹によって事情が明らかにされた。